



2011年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2010年12月21日

上場会社名 株式会社ツヴァイ 上場取引所 東
 コード番号 2417 URL http://www.zwei.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田路 正
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 後藤 喜一 (TEL) 03-3519-7401
 四半期報告書提出予定日 2010年12月28日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2011年2月期第3四半期の業績(2010年2月21日~2010年11月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2011年2月期第3四半期	2,896	△10.9	252	△26.0	280	△24.0	163	△22.0
2010年2月期第3四半期	3,251	—	341	—	369	—	209	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2011年2月期第3四半期	41	91	41	64
2010年2月期第3四半期	53	74	53	52

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2011年2月期第3四半期	3,966		3,349		84.1	855	58	
2010年2月期	3,976		3,274		82.1	837	60	

(参考) 自己資本 2011年2月期第3四半期 3,336百万円 2010年2月期 3,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2010年2月期	—	0 00	—	30 00	30 00	00
2011年2月期	—	0 00	—			
2011年2月期(予想)				30 00	30 00	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 2011年2月期の業績予想(2010年2月21日~2011年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	4,430	2.6	650	2.8	680	2.3	380	0.1	97	44

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2011年2月期3Q	3,900,000株	2010年2月期	3,900,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2011年2月期3Q	195株	2010年2月期	119株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2011年2月期3Q	3,899,843株	2010年2月期3Q	3,899,881株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
【第3四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間における当社をとりまく経済環境は、前会計期間から大きな変化はなく、消費動向、雇用情勢等、不透明な状況が続いております。

このような環境の中、「幸せを創る」ことを事業としている当社の社会的な役割は益々大きくなっていると認識しております。当社は、どのような環境下においても「一人でも多くの幸せなカップルをつくる」ことを存在意義と考え、取り組みを進めてまいりました。当会計期間においても同様の考え方に基づき「入会者増加施策の実施」「会員サービスの充実」「IT投資によるお客さまニーズへの対応」を重点に取り組んでまいりました。

①「入会者増加施策の実施」

「マス媒体とインターネットの最適化」を目指し、マス媒体への広告を強化するとともに、お客さまが知りたい情報に早く到達できるように自社ホームページの見直しを行いました。

「接客技術向上施策」として、当第3四半期会計期間において、研修プログラムの見直しを行い、専任トレーナーによる技術訓練を集中して実施するとともに、ご来社いただきお話をさせていただいたお客さまに対し、その終了後に内容についての評価をいただける仕組みも導入いたしました。

②「会員サービスの充実」

コーディネート機能の強化を図り、より出会いの機会を増加させております。また、マイページサービスについては、機能の追加と利用率の増加の取り組みを実施いたしました。

会員構成比が上昇している高齢層への取り組みとして、人を介してのご紹介サービスの充実に加え、趣味など共通のテーマによる出会いの機会創出に努めました。

このような取り組みの成果も含め、累計会計期間においての成婚退会率は昨年より1.4%改善しております。

③「IT投資によるお客さまニーズへの対応」

当会計期間においては、成婚退会率の向上を目的に、従来の双方向ベストマッチングシステムを補完し、更なる付加価値を上げるため、新しい視点での価値観マッチングの仕組み「愛・コンパス」の開発に取り組みました。これによりご自身とお相手をさらに深く知ることが可能になり、出会いの機会の拡大につながります。また、将来的には、さまざまな年代層のお客さまへのサービスに転用できるシステムであり、よりお客さまのニーズに対応できる体制を構築していくことが可能になります。

この取り組みをはじめ、当社は、業界のリーディングカンパニーとして、結婚につながるお客さまニーズに対応したサービスを提供し続けてまいります。

以上の取り組みを進めてまいりました。しかしながらその成果には時間がかかり新規入会者は、前年同期を下回る結果となっております。

当第3四半期累計期間の業績は、売上高28億96百万円(前年同期比10.9%減)、営業利益2億52百万円(前年同期比26.0%減)、経常利益2億80百万円(前年同期比24.0%減)、四半期純利益1億63百万円(前年同期比22.0%減)となりました。

(注)成婚退会率とは、退会された会員数の内、「結婚・婚約・交際」を理由に退会された会員数の割合です。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産につきましては、前期末と比較して10百万円減少し39億66百万円となりました。

流動資産は、前期末より49百万円減少し27億9百万円となりました。主な要因は、金銭の信託の減少額59百万円によるものであります。固定資産は、前期末より38百万円増加し12億56百万円となりました。主な要因は、株式の時価評価による投資有価証券の増加額39百万円によるものであります。

流動負債は、前期末より97百万円減少し4億91百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少額1億51百万円と買掛金の増加額46百万円、賞与引当金の増加額23百万円によるものであります。固定負債は、前期末より12百万円増加し1億26百万円となりました。主な要因は、退職給付引当金の増加額8百万円と繰延税金負債の増加額6百万円によるものであります。

純資産は、前期末より75百万円増加し33億49百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加額46百万円と株式の時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加額23百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億7百万円の収入となりました。主な要因は、税引前四半期純利益2億80百万円、減価償却費90百万円、金銭の信託の減少額59百万円、営業債務の増加額46百万円による収入と法人税等の支払額2億84百万円の支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、90百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得35百万円、無形固定資産の取得55百万円による支出であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億17百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払額1億16百万円の支出であります。

以上の結果、当第3四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末と比較して0.7百万円増加し21億2百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第4四半期につきましては、第3四半期累計期間までの取り組みに加え、「愛・コンパス」を活用するなど新しい取り組みを実施し、成果を上げてまいります。

2011年2月期の業績予想につきましては、本資料の公開時点において、2010年9月27日の「平成23年2月期 第2四半期決算短信(非連結)」で発表いたしました通期業績予想を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

(一般債権の貸倒見積高の算定方法)

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が、前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

(税金費用の計算)

法人税等については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法により算出しております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前事業年度末に検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

②特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (2010年11月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2010年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	355,963	426,976
売掛金	328,015	347,375
預け金	46,222	174,488
関係会社預け金	1,700,000	1,500,000
金銭の信託	197,233	256,834
その他	84,748	55,374
貸倒引当金	△2,242	△2,052
流動資産合計	2,709,940	2,758,997
固定資産		
有形固定資産	142,926	149,615
無形固定資産	95,821	89,502
投資その他の資産		
投資有価証券	573,201	533,431
敷金	262,140	263,456
保険積立金	271,951	271,951
その他	864	—
貸倒引当金	△90,000	△90,000
投資その他の資産合計	1,018,157	978,839
固定資産合計	1,256,905	1,217,958
資産合計	3,966,846	3,976,955
負債の部		
流動負債		
買掛金	91,567	45,383
未払法人税等	—	151,320
前受金	171,131	177,941
賞与引当金	37,187	13,212
役員業績報酬引当金	19,961	31,876
その他	171,317	168,799
流動負債合計	491,164	588,533
固定負債		
退職給付引当金	30,685	22,521
繰延税金負債	46,993	40,577
長期未払金	48,330	50,780
固定負債合計	126,008	113,878
負債合計	617,173	702,412

(株)ツヴァイ(2417)2011年2月期第3四半期決算短信(非連結)

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (2010年11月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2010年2月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	444,000	444,000
資本剰余金		
資本準備金	450,000	450,000
資本剰余金合計	450,000	450,000
利益剰余金		
利益準備金	60,000	60,000
その他利益剰余金		
任意積立金	1,870,000	1,620,000
繰越利益剰余金	272,067	475,630
利益剰余金合計	2,202,067	2,155,630
自己株式	△278	△224
株主資本合計	3,095,788	3,049,406
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	240,818	217,115
評価・換算差額等合計	240,818	217,115
新株予約権	13,065	8,021
純資産合計	3,349,672	3,274,543
負債純資産合計	3,966,846	3,976,955

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2009年2月21日 至 2009年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自 2010年2月21日 至 2010年11月20日)
売上高	3,251,492	2,896,194
売上原価	1,495,326	1,365,692
売上総利益	1,756,166	1,530,501
販売費及び一般管理費	1,414,553	1,277,641
営業利益	341,612	252,860
営業外収益		
受取利息	8,566	8,459
受取配当金	18,366	18,616
その他	1,074	834
営業外収益合計	28,007	27,910
営業外費用	244	5
経常利益	369,375	280,766
特別損失		
固定資産除却損	295	—
事務所移転費用	3,688	—
特別損失合計	3,984	—
税引前四半期純利益	365,391	280,766
法人税、住民税及び事業税	173,725	125,157
法人税等調整額	△17,912	△7,824
法人税等合計	155,812	117,333
四半期純利益	209,578	163,432

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 2009年8月21日 至 2009年11月20日)	当第3四半期会計期間 (自 2010年8月21日 至 2010年11月20日)
売上高	1,118,797	962,656
売上原価	512,822	483,893
売上総利益	605,975	478,763
販売費及び一般管理費	475,414	418,631
営業利益	130,560	60,131
営業外収益		
受取利息	2,693	2,587
受取配当金	5,692	5,692
その他	308	119
営業外収益合計	8,694	8,399
経常利益	139,255	68,531
税引前四半期純利益	139,255	68,531
法人税、住民税及び事業税	69,846	34,170
法人税等調整額	△11,169	2,131
法人税等合計	58,677	36,301
四半期純利益	80,578	32,229

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2009年2月21日 至 2009年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自 2010年2月21日 至 2010年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	365,391	280,766
減価償却費	71,663	90,198
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,370	190
賞与引当金の増減額 (△は減少)	39,787	23,975
役員業績報酬引当金の増減額 (△は減少)	24,891	△11,915
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35,180	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11,751	8,163
受取利息及び受取配当金	△26,933	△27,076
固定資産除却損	295	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,432	19,360
金銭の信託の増減額 (△は増加)	18,000	59,601
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	431	△19,808
営業債務の増減額 (△は減少)	39,859	46,183
前受金の増減額 (△は減少)	36,941	△6,809
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△14,996	△2,152
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	△2,450
その他	6,593	4,114
小計	534,433	462,343
利息及び配当金の受取額	24,987	29,867
法人税等の支払額	△320,503	△284,346
営業活動によるキャッシュ・フロー	238,916	207,864
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期貸付金の回収による収入	1,100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△91,917	△35,673
無形固定資産の取得による支出	△10,585	△55,465
敷金の差入による支出	△41,709	△891
敷金の回収による収入	27,500	1,937
投資活動によるキャッシュ・フロー	983,287	△90,093
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△54
配当金の支払額	△97,497	△116,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,497	△117,050
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,124,707	720
現金及び現金同等物の期首残高	822,805	2,101,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,947,512	2,102,185

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。